

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|----|--------|
| 点数 | 点/100点 |
|----|--------|

各論演習 39-1

問1)

ヒカリライティング(株)（会計期間1年、決算日3月31日）は、×2年3月31日に(株)湘南照明舞台（会計期間1年、決算日3月31日）の発行済議決権株式の40%にあたる株式を500,000円で取得し、連結決算上、持分法適用会社とした。よって、以下の問いに答えなさい。

(資料)

- ×2年3月31日現在における(株)湘南照明舞台の純資産の額（帳簿価額）は1,200,000円であり、その内訳は次のとおりである。なお、のれん（投資差額）については、投資年度の翌年から10年間で均等償却する。また、資本の額の計算にあたっては、税効果会計（実効税率30%）を考慮する。

資本金 800,000円

利益剰余金 400,000円

(注) (株)湘南照明舞台の諸資産は時価評価をすれば20,000円の評価益が生じる。

- (株)湘南照明舞台の×2年6月25日に株主総会において、次の利益剰余金の処分と配当が決議された。

利益準備金 25,000円

剰余金の配当 250,000円

- (株)湘南照明舞台の×2年度における当期純利益は300,000円であった。

- ヒカリライティング(株)は湘南照明舞台株式を投資有価証券勘定で処理しており、他に投資有価証券は所有していない。

【設問】 上記の資料により、(1) ×2年度（×2年4月1日から×3年3月31日）における連結財務諸表作成のための修正仕訳を示すとともに、×2年度において作成される(2) 連結貸借対照表に記載される投資有価証券の金額と、連結損益計算書に記載される持分法による投資損益の金額をそれぞれ示しなさい。

解1)

- 連結財務諸表作成のための連結修正仕訳

単位：円

| | 借方 | | 貸方 | |
|----------|----|--|----|--|
| ×2年3月31日 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ×3年3月31日 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(注) 仕訳がない場合は「仕訳なし」と記入すること。

- 連結財務諸表に記載される各金額

| | | |
|------------|--|---|
| 投資有価証券 | | 円 |
| 持分法による投資損益 | | 円 |

益 ・ 損

(注) 持分法による投資損益は、益か損のいずれか該当するものに○で囲むこと。